

観光地、多言語で紹介

四日市・外国 人支援NPO 愛伝舎が動画配信へ

多文化共生の取り組みに使用してもらうこと、県内から明治期に渡米した人やその家族らでつくる「南カリフォルニア県人会」は十六日、外国人を支援するNPO法人「愛伝舎」（四日市市）に現金十万円を寄付した。同法人は県内の観光地を多言語で発信する事業に活用する。

（海住真之）
南カリフォルニア県人会が寄付金

同会が昨年、発足から百二十周年を迎えたこと、飯野高（鈴鹿市）の英語を記念した事業の一環、大田勉会長が今年一月、視察で渡米した津田健児（自民党、六期、四日市市選出）に寄付の意図を外国語で紹介している様子（坂本久海子理事長）を収録する。

この日、県議会議事堂で寄贈式があり、愛伝舎代表の坂本久海子理事長は、八月から制作し、動画投稿サイト「ユーチューブ」で配信する。



寄付金の目録を受け取った坂本理事長（前列左から3人目）ら二県議会議事堂で

丹橋良識は「寄付を有効に使うために、活力を生み出すために協力してほしい」と語った。

とあいさつ。坂本理事長は「外国籍の人を支援するだけではない、日本に

発行所：伊勢新聞社
〒514-0831 津市本町34番6号
TEL 059-224-0003
FAX 059-226-3554
www.isenp.co.jp
©伊勢新聞社 2024